

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

平成 25 年度 漁村青年交流会開催

— 10/4~5 松阪市・南伊勢町で —



【1日目：研修会の様子】

三重県漁協青壮年部連絡協議会（勢力幸広会長）は、10月4日（金）、5日（土）に、平成25年度漁村青年交流会を開催しました。

同交流会は、県内の漁協青壮年部員らが一堂に会し、研修、意見交換を行い、本県漁業の発展に向けた活動を展開していくことを目的として毎年開催しており、今年で16回目を迎えました。

1日目は、三重漁連のり流通センター（松阪市）で行われ、各青壮年部からの活動報告の後、中澤さかな氏（道の駅／萩しーまーと駅長、内閣官房地域活性化伝道師）より、生産者魚価を上げる取組方法についての講演がありました。

その講演では、市場では値がほとんどつかないような低利用魚の特産化、高付加価値化への成功事例や、空輸便を使った首都圏高級スーパーへの直納など、様々な事例が紹介され、出席した青壮年部員たちは、熱心に話を聞いていました。

また、研修会場では三重県漁青連が作成した「漁師Tシャツ」の制作発表も行われました。

（漁師Tシャツの詳細は次号掲載予定）

2日目は、南伊勢町神前浦の(株)ブルーフィン三重のマグロ養殖場視察に訪れ、給餌現場の視察の後、事業概要、生産、販売体制についての説明を受け、参加した青壮年部員はマグロ養殖事業についての造詣を深めました。



【2日目：マグロ養殖場視察】

津田学園中学校
南伊勢町神前浦で漁業体験
— 10/5 南伊勢町神前浦 —



【真剣に塩を作る生徒たち】



南伊勢町神前浦地区振興産地協議会（浜地一久会長）・神前浦交流体験部会は、10月5日（土）に漁業体験を実施し、桑名市の津田学園中学校の生徒16名および教員3名が参加しました。

開校式の後、4班に分かれた生徒たちは、ライフジャケットに身を包み地元漁船に乗船、(株)ブルーフィン三重のマグロ養殖場を見学し、目の前の巨大なポンプから餌のイワシが吹き出す様と、それを食べる魚群の波に興奮した様子でした。

その後、海から戻った生徒たちは、海水からの塩作り体験を行い、慣れない手つきで懸命に製塩をしていました。

昼食に出された伊勢まぐろ、伊勢まぐろの刺身をおいしそうに食べた後、マグロ等の流通の話を熱心に聞き、自分たちで作った塩を手土産に笑顔で帰路につきました。

第 35 回三重県海の子作品展審査会

— 10/8 松阪市にて開催 —

10月8日（火）、三重県海の子作品展審査会が三重漁連のり流通センター（松阪市）で行われました。

この作品展は、県下沿海地区市町の小中学生を対象に、海、漁業、漁村に関する題材の美術作品を募り、海を愛する心を育て、漁業に対する理解と認識を高めるとともに、漁業後継者の育成を図ることを目的としており、今年で35回目。

今年は、小中学生の部合わせて870点の作品が寄せられ、その中から475点が審査会上げられ、厳正な審査の結果、小学校の部7点、中学校の部7点が入選しました。入選作品の中から特に優秀な作品については、第36回全国海の子作品展へ出品されます。

入選作品については、下記 URL をご覧ください。（H25年度分は後日更新）

<http://miegyoren.or.jp/gallery/prize-winning/uminoko/>



【三重県知事賞受賞作品】

【左：小学生の部、右：中学生の部】

【主な予定】

- 12日 あのりふぐ祭り（安乗漁港）
- 12、13日 NHK津ふれあいデー（津）
- 15日 黒のり事業推進委員会（松阪）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。